

## 手足口病とは？

### 1. 手足口病とは？

- ・ 幼児を中心としたウイルスによる感染症で、主に夏頃に流行します。
- ・ 一般に、口の中、手のひら、足の裏等に水疱性の発疹が生じるのが特徴です。

### 2. どのように感染するの？

- ・ 感染経路：飛沫感染、接触感染、糞口感染※  
※便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること
- ・ 病原体：コクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71 が主

### 3. 症状は？

- ・ 潜伏期間：3～5日
- ・ 症状：口の中、手のひら、足の裏などに2～3mmの水疱を伴う複数の発疹が生じます。  
発熱が生じることもあるが、あまり高くないことが多いとされています。
- ・ 合併症：髄膜炎、脳炎などの中枢神経系の合併症、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など

### 4. 手足口病の治療は？かかったときはどうすればいいの？

- ・ 対症療法が基本です。
- ・ 経過を注意深く観察し、合併症に注意しましょう。

### 5. 感染を予防するためには？

- ・ こまめな手洗いが重要です。石けんを使い、丁寧にこすり洗いをし、水で洗い流しましょう。
- ・ 手洗い後はペーパータオル等を使って手を拭きます。  
タオルを使用する場合は、毎回タオルを交換するか、清潔な個人用タオルを使用しましょう。  
水道の蛇口は、手と一緒に洗うか、ペーパータオルを利用して締めると、手の再汚染を防げます。
- ・ 治ってからも比較的長い期間便にウイルスが排出されるため、オムツ交換やトイレ後は、石けんによる手洗いを励行しましょう。

